

令和5年度  
いじめ根絶標語コンクール作品  
一日の最後は笑顔で  
「また明日！」  
松柏中 1年 芝井 梨帆

# さるびあ通信



令和6年 7月発行  
八幡浜いじめ対策委員会  
事務局

## 「いつか大人になっても」

八幡浜市教育委員会教育長 井上 靖

今年の1月7日、ゆめみかんににおいて、第50回八幡浜児童合唱団定期演奏発表会が開催されました。八幡浜児童合唱団は「歌声がきこえてくる心豊かな街」をスローガンに八幡浜青年会議所が推進役となり1974年5月に結成され、たくさんの人に支えられながら今日まで受け継がれてきました。

50周年という節目の発表会には、合唱団の卒業生であり、オペラ歌手として活躍の宮本益光さん作詞、宮本さんと親しく、日本を代表する作曲家の加藤昌則さん（神奈川県出身）作曲による楽曲『百年の星と空』が提供され、19名の現役団員によって披露されました。

特別組曲となっている、四つの楽曲の中から、「いつか大人になっても」の歌詞の一部を、皆さんと共に味わいたいと思います。

大きな、大きな空を見てると 飛べそうな気持ちになる  
そしたら父ちゃん 「それがおまえの勇気だよ」って  
なでてくれたよね  
いつかオレが大人になっても この勇気を覚えておくよ

小さな、小さな花を見てると 泣きそうな気持ちになる  
そしたら母ちゃん 「それがあなたの優しさだよ」って  
抱きしめてくれたよね  
いつかウチが大人になっても この優しさを覚えておくよ

次の50年を見据えてつくられた歌詞には、宮本益光さんが育った八幡浜の原風景があり、そこで暮らす子どもたちの笑顔や支えてくれる人たちの涙があります。それは紛れもなく、宮本さん自身のふるさとへの愛だと思えます。



## 第1回八幡浜市いじめ対策委員会開催

令和6年度第1回八幡浜市いじめ対策委員会を6月27日(木)に市役所保内庁舎で開催しました。はじめに役員選出を行い、会長に市公連副会長の二宮成計氏(2年目)、副会長に市P連会長の竹葉一也氏(1年目)が決定しました。1年間よろしく願います。

対策委員会では、4ブロックの各いじめ対策委員会の報告と、令和5年度八幡浜市いじめ対策委員会の活動報告といじめ・不登校の状況について説明があり、本年度の活動方針と事業計画について協議を行いました。そして、本年度の活動方針を決定するとともに、来年度に予定されている、市内3中学校の統合に伴ういじめ対策委員会の組織の在り方等についても協議しました。

今後とも、地域をあげて、子どもたちの健全育成のためにご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

### 【今年度の活動方針(活動の方向)】

- いじめをなくすため、「あいさつ運動」を推進する。  
あいさつ強調運動旬間の取組(市民啓発の推進...Webサイト)
- 子どもの安全を確保し、児童虐待防止に努める。
- 児童生徒や保護者の不安や悩みを解消するため、教育相談や療育相談活動を推進する。
- 児童生徒等の実態を踏まえた取組を進めるための調査活動を実施する。
- 不登校又は不登校傾向児童生徒への適切な対応を進める。
- 心のふれあいや、つながりを深める地域活動を進める。
- それぞれの学校や家庭で「情報通信機器等の取扱いにかかわる提言」の実現を図る。
- 集団生活を通して、よりよい人間関係づくりに努める。
- 安全確保に努め、事故防止に努める。

## ～令和6年度の八幡浜市いじめ対策委員を紹介します～



【会長】二宮 成計(市公民館連絡協議会副会長) 【副会長】竹葉 一也(市PTA連合会会長)  
佐々木加代子(市議会民生文教委員会委員長) 川道 貴美(市PTA連合会女性代表) 菊池 正(人権擁護委員代表)  
松山 雄亮(警察署生活安全課長) 菊池 信行(市青少年補導員会会長・八代ブロック子ども育成会会長)  
井原 正晴(市社会教育委員会委員長) 前田 英隆(市小・中学校長会会長) 二宮 啓(市生徒指導部会代表)  
菊池 順子(市主任児童委員部長) 幸田 裕司(県ネットワーク協会代表理事) 吉川 芳恵(保内児童センターだんだん館長)  
中島 和久(愛宕ブロック子育ての会会長) 和田 憲治(松柏ブロック子育て推進の会会長)  
二宮 敏幸(保内ブロック子ども育成会会長) 上記の他、市教育委員会及び関係課長7名、市事務局3名、各ブロック事務局4名

## 令和6年度 いじめ問題等対策講演会(オンライン)

第1回八幡浜市いじめ対策委員会の後に「いじめ問題等対策講演会」を実施しました。今回は、(公益社団法人)子どもの発達科学研究所所長の和久田学氏に講師をお願いし、「学校を変えるいじめの科学～トリプルチェンジの必要性～」と題し、小児発達学の専門家の立場から、いじめを科学的に分析し、その構造や予防方法等について講演いただきました。



- 今の日本のいじめ対策は、「問題が起こる」ことを前提とした支援となっている。
- いじめ問題の支援は、1次支援(すべてを対象にした予防)、2次支援(問題への初期対応)3次支援(徹底した個別介入)の三つのセーフティネットで構成されている。日本の現状は1次支援が不十分である。これを解決するためには、科学を使うことが必要である。
- いじめを深刻化させる二つのキーワードは、力の不均衡(アンバランス・パワー)と不公平な影響(シンキング・エラー)である。アンバランス・パワーがあるから、被害者は、やり返せない。シンキング・エラーがあるから、加害者は気付けない。
- いじめをなくすためには、トリプルチェンジが必要である。
  - ① Cognitive Change(考え方を変える:正しい知識を学び、シンキング・エラーを正す。)
  - ② Behavior Change(行動を変える:正しい考えに基づき、具体的に行動する。)
  - ③ Climate Change(集団を変える:いじめが起きない「思いやりのある集団」を創る。)

以上のような内容がとても印象に残りました。この講演は各小中学校の教職員も校内研修や個人研修として参加し、各校の教職員の皆さんと共有しました。いじめを科学的に分析し、科学的根拠のもと予防や対応をしていくことの必要性を学ぶことができました。

## 広報「やわたはま」つなぐ・つながる

市内の各小・中学校は、子どもたちの健全育成やいじめの未然防止等を図るために、様々なつながりを作り、深めてきました。それらの取組の中から、特色あるものを紹介します。

### <掲載予定>

- 7月...保内中学校
- 9月...松柏中学校
- 11月...双岩小学校
- 1月...松蔭小学校
- 3月...川上小学校



5月号には、川之石小学校の「豊かな心を育むために」～地域との触れ合いを通して～の記事が掲載されています。



## 令和6年度八幡浜市いじめ対策委員会の提言

八幡浜市いじめ対策委員会では、平成8年以降「いじめのないまちづくり」のための提言を行い、「三層の情報環流方式」による情報連携を実践してきました。そして、いじめの防止のための様々な取組はもちろんのこと、「あいさつ運動の輪の広がり」「心のふれあいを深める地域活動」「情報通信機器等の取扱いにかかわる指導の充実」などの取組を進め、一定の成果を上げてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が5類移行となり1年が経過しましたが、不登校児童生徒は増加の傾向にあり、児童生徒の社会性の育成や健全育成に、少なからず影響が残っています。また、ゲーム機やスマホ等の情報通信機器等への依存、SNSによるトラブルの増加も予断を許しません。さらには、児童虐待やヤングケアラーの問題も大きな社会問題になっています。

私たちは、これまでの取組やいじめ対策委員会における協議を踏まえ、児童生徒の健全育成を図るため、次の提言をします。それぞれの立場で、具体的な実践をお願いします。



### 【八幡浜市いじめ対策委員会の提言】

—市民みんなで、「いじめや虐待のないまちづくり」を進めましょう—

#### 《八幡浜市民に向けて》

- (1) あいさつの響くまちをつくりましょう。
- (2) 子どもの安全を確保するとともに、児童虐待防止に努めましょう。

#### 《家庭に向けて》 家庭教育の充実を図りましょう

- (1) 家庭内対話とふれあいを大切にしましょう。
- (2) 学校と連携して、電子機器等の正しい使い方を教えましょう。

#### 《学校に向けて》 集団生活を通して、よりよい人間関係をつくりましょう

- (1) いじめを積極的に認知して、早期解決を図りましょう。
- (2) いじめをなくす集団作りを進めましょう。
- (3) 子どもと向き合う時間を充実させましょう。

#### 《地域に向けて》 地域の子どもは地域で育てましょう

- (1) 心のふれあいやつなごりを深める地域活動を進めましょう。
- (2) 地域の伝統や文化を子どもたちに継承しましょう。
- (3) 地域ぐるみの見守り活動を進めましょう。

(※「ながら」見守り活動の推進)

#### 《行政に向けて》 「三層の情報環流方式」の取組を評価し、八幡浜市の現状を踏まえた取組を検討しよう。

- (1) 学校・家庭・地域社会の活動を側面から支援します。
- (2) 実態把握に努め、課題を踏まえた施策を検討します。

#### ※ 「ながら」見守り活動の推進

児童生徒の登下校時間帯に合わせて、外に出て花に水やりをする、家の前で掃き掃除をする、通勤時間をずらす、犬の散歩をするなど、時間と場所を工夫して、何かをしながら登下校中の児童生徒を見守る活動を推進する。



## 令和7年度以降のいじめ対策委員会の在り方（提案）

今までの成果や課題を踏まえて、今後のいじめ対策委員会の在り方について、大きく2点を提案しました。

### 《その1》

いじめ問題を含む多様化する八幡浜市の課題に対応するため、八幡浜市いじめ対策委員会は継続することとし、八幡浜市の児童生徒の実態の把握に努め、健全育成の施策を検討する。

なお、次の点についても、検討を行う。

- (1) 児童生徒を取り巻く諸課題について協議する会とし、いじめ対策委員会の名称を変更する。

※ 校内・ブロック・市で協議している内容は、いじめ問題に限らず健全育成や安全にかかわる内容となっている。そのため、会の名称（いじめ対策）と協議内容が合わなくなっている。

例：八幡浜市子ども健全育成協議会

- (2) 委員数を厳選して、課題に対応できる委員を選定する。また、ICTを活用することで、各校の代表者の参加や児童生徒の参加（意見表明）も考えられる。さらには、社会福祉や、就学前や高等学校との連携等も考えられる。

- (3) 緊急支援委員会が実効性のある組織となるように見直しを図り学校現場を支援する体制づくりを進める。

### 《その2》

各学校の健全育成に関わる会議と実践の充実を図ることを優先し、令和7年度からのブロックいじめ対策委員会を廃止する。

なお、次の点も検討したい。

- (1) 保内ブロックにおいては、中学校の統合がないことから、継続することも考えられる。今後、保内ブロック内で検討していただきたい。

- (2) それぞれのブロックにおいては、地道に積み上げてきた体験活動や啓発活動がある。それらの中で、効果の薄いものは削減することが望ましい。今後は、小学校が地域との協働・連携の中核を担っていくことが考えられることから、継続する場合は、小学校や公民館等の取組に移行することなども検討する。

※ 過年度のブロック統合においては、次のような移行が行われた。

例：双岩ブロックの竹の子の集い … 公民館の活動

真穴ブロックの地引網体験 … 小学校と地域が連携

- (3) 各小・中学校における協議においては、学校（学校間）、家庭、地域との連携を重視した建設的な協議を目指す。

○ いじめ防止基本方針に則る具体的な実践

○ 協議が形骸化しないためにも、委員の人数には留意したい。特に、中学校においては、委員の構成、地域との連携の在り方を検討する必要がある。

### <今後の予定>

- ① 第1回いじめ対策委員会における委員の意見を踏まえた案を作成
- ② 教職員及び保護者を対象としたアンケートを実施(9月)
- ③ ブロックいじめ対策委員会にて協議(10月)
- ④ アンケート結果及びブロックいじめ対策委員会の意見を参考として、修正案を作成(11月)
- ⑤ 第2回いじめ対策委員会において、修正案を協議し、令和7年度以降のいじめ対策委員会の方向を決定
- ⑥ 第3回いじめ対策委員会において、委員の構成等を検討し、八幡浜市教育委員会での決定を経て、令和7年度から施行

## ひとりで悩んでいませんか？ お気軽にご相談ください。

☆ 電話相談・来室相談（八幡浜市教育委員会教育支援室）

☎ 0894-21-6864 月～金8:30～17:00

☆ 心の悩み相談（八幡浜市保健センター成人保健係）

☎ 0894-24-6626 月～金9:00～17:00

☆ いじめ相談ダイヤル24（愛媛県教育委員会）

☎ 0120-0-78310 24時間受付

☆ 18歳までのチャイルドライン(チャイルドライン支援センター)

☎ 0120-99-7777 まいにち16:00～21:00

☆ やわたはま元気ノート（児童生徒のタブレット端末を利用したセルフチェックとSOSなんでも相談の実施）

☆ 心の悩み110番（八幡浜市教育委員会教育支援室）

☎ 0120-805-415 月～金8:30～17:00

☆ 警察安全相談（八幡浜警察署）

☎ 0894-22-0110 24時間受付

☆ こどもの人権110番（法務局）

☎ 0120-007-110 月～金8:30～17:15

☆ 児童相談所全国共通ダイヤル（厚生労働省）

☎ 189(いちはやく)児童虐待通報電話24時間受付

